

The Sapporo Chamber of Commerce and Industry

会議所通信

3/1・5・8・12
接客担当者向け！学んですぐ使える！
「実践おもてなし英語講座」を実施



熱心に学ぶ参加者

接客業務を担当する方を対象とした英語講座を全四回にわたり実施。述べ五十七名が受講した。
当講座では、すぐ使える英語をコンセプトに日本人講師と札幌在住のネイティブスピーカーの二人体制で、簡単な英語表現を使用し、実例に沿ったロールプレイングを中心に行った。参加者は、外国人のお客様との接客をスムーズに行う技術を学んだ。

3/2
IT活用を学ぶ！
企業交流会の開催



積極的に交流を図る参加者

働きつばる産業振興財団と共催でIT活用についてIT企業や専門家に相談できる企業交流会を二部制で開催した。
第一部は、健康・福祉関連産業を対象にITを活用した健康・福祉サービスや予約・受付の効率化に役立つシステムについて専門家が紹介し、第二部では、食関連産業を対象としてスマートフォン活用法や集客アプリについて学んだ。専門家による個

当コーナーでは、当所が取り組むホットな事業をご紹介します。

別相談会や参加者同士の相互交流も行い、経営上の課題解決に向けて貴重な機会となった。

3/5
積極的に人的交流・情報交換・自社PR
第三十回「企業交流会」も異業種交流も開催



69社100名が参加した、第30回企業交流会「ゲスト講話」の様子

第三十回となる今回は、ゲスト講話として日本商工会議所産業政策第一部課長の山内清行氏より「平成二十四年度税制改正ならびに社会保障・税一体改革の動向」と題し、中小企業関連税制の是正・拡充に向けた商工会議所としての提言方針について説明いただき、その後一分間PR、名刺交換を通じて自社のPRや交流を図っていた。

3/6・7
外国人社員対象
「ビジネス基礎力強化セミナー」を開催

事業のグローバル化に伴い、国際舞台で活躍できる人材の育成強化が、現在企業に求められていることから、札商アジアン・ブリッジ・プログラムの一環として、日本企業に就職している海外留学生ならびに道内企業への就職が内定した留学生を対象に、「ビジネス基礎力強化セミナー」を二日間にわたり実施した。

参加者は、日本企業のビジネス習慣などについての理解と認識を深めるとともに、仕事に取り組み姿勢や実務で役立つ仕事の進め方などを学んだ。



外国人社員などの人材育成研修の一環として行われた

3/6~9
大規模商談会「FOODEX JAPAN2012」に出展！

三月六日から四日間にわたり、幕張メッセにて開催された「FOODEX JAPAN2012」に出展。世界中の食品が一堂に会し、食品業界のビジネス拡大を支援する商談会で、今回は、世界七十カ国・地域から約二千三百九十三社が出展し、熱く真剣な商談が繰り広げられた。

当所からは、規格外にんじんから作られたペーストを使用した商品の販路拡大を目指し、来場者へ五商品の試食・アンケート調査を実施したほか、「ライス愛すプロジェクト」のブースを設け、道産米粉を使用した商品のPRを行った。



多くの来場者が足を止めた当所の出展ブース

3/8

販路拡大支援事業JALUXとの「個別商談会」を開催

自社の商品をバイヤーに対して直接売り込んでいただく「個別商談会」。会員事業所の販路拡大支援として新たに実施したもので、第一弾として、JALグループで航空分野を基盤としている生活提案企業の(株)JALUXの食品、雑貨それぞれの担当バイヤーを招いて開催した。

参加した四十六社は、自慢の商品などを実際に持参し、積極的にPR・商談を行った。

参加者からは、「単独では、なかなかこういったチャンスを得られない」「消費者目線からの参考となるアドバイスをもらえた」と好評で、当所では様々な企業のバイヤーを招いて、五月以降も毎月開催していく予定。



JALUXのバイヤーに積極的に売り込む参加者

3/9

スマートコミュニティフォーラム
次世代インフラ「スマートコミュニティ」がひらく未来を開催

再生可能エネルギーを柱としたスマートコミュニティ形成の動きが活発化している中、当所では、国のエネルギー政策づくりに深く関わってこられた東京工業大学大学院の柏木孝夫教授をお招きして、わが国におけるスマートコミュニティのあり方についてご講演いただいた。

また、先駆的実例として、「柏の葉キャンパスシティプロジェクト」(三井不動産(株))や「横浜スマートシティプロジェクト」(横浜市)の取り組みも紹介。幅広い業種におけるビジネスチャンスの創出も期待されるだけに、参加者は真剣な面持ちで聴講していた。

3/8

CA卒業式(三百二十三名) 大きな夢に向かって羽ばたく

札幌商工会議所付属専門学校(CA)は、第五十七回卒業証書授与式を執り行い、来賓をはじめ保護者など約六百名が出席、卒業生三百二十三名が学び舎を巣立った。

式典では、来賓の札幌市本間敬久経済局産業振興部長と当所青木雅典副会頭から祝辞をいただいた。その後、篠木校長より卒業生全員に卒業証書が授与された。

二年間にわたり、実践的・専門的な職業教育を受け幅広い教養を身につけた学生たちは、期待に胸を膨らませ、自らの夢に向かって果敢にチャレンジすることを心に誓い、それぞれの進路へ羽ばたいた。



卒業証書授与式の様子

3/13

平成二十三年度 第二回「新入会員交流会」を開催

当所にご入会后、概ね一年から二年の、同時期に入会された方を対象として開催している新入会員交流会。

当日は、「会議所の使い方」として当所の事業概要やサービス活用法についてご紹介し、その後、「参加企業一分間PR」、「情報・名刺交換、交流会」というプログラムで開催。参加者は、名刺交換など積極的に交流を図っていた。



新入会員交流会には、55社70名が参加した

3/8

姉妹都市である韓国・大田市
大田商工会議所を表敬訪問

当所滝沢副会頭は、一昨年札幌市と姉妹都市提携を結んだ韓国・大田市を訪問し、大田商工会議所の宋会頭と会談した。

今後札幌と大田の間でビジネス面の交流が一層深まるよう、情報交換や意見交換を行った。その後、大田広域市の地元企業であるSUNYANG CO., LTD.を訪問し、韓国焼酎の製造ラインなどを見学した。



大田商工会議所宋会頭(中央)と当所滝沢副会頭(右から二番目)

3/13

「札幌市住宅施策セミナー」

札幌市が新年度からの制度化を予定している「札幌版次世代住宅基準と補助制度」および予算規模の拡大が予定されている「住宅エコリフォーム補助制度」や「札幌市の耐震化補助制度」を解説するセミナーを開催した。

新築・リフォーム市場における付加価値の創出や、補助金の活用による新たな顧客開拓への有益な手段として、百九十六名の参加者は熱心に聴講していた。



本制度について説明する札幌市担当職員

3/16

自転車を活用した道内観光の促進に関する意見交換会

近年、エコツーリズム・健康志向ブーム・個人型旅行の浸透などにより、全国各地で自転車を活用した観光が注目されている。北海道においては、自転車で長距離を走破する観光客も来道している。自転車観光を北海道に欠かせない新たな観光の形として位置づけ、国内外に広くアピールする事で、今後の観光振興と地域活性化につなげるべく意見交換を実施した。自転車業界の企業や道内の各商工会議所など関係機関が参加し、積極的な意見交換がなされた。

3/17

札商縁結び交流事業！
「札幌もいわ山夜景と恋する天空レストランパーティー」を開催

結婚しない若者や晩婚化などの進行に伴う少子化対策として、結婚を前向きに考えている二十五歳〜四十歳位の独身の方々を対象にした婚活イベントを開催した。

当日は天候にも恵まれ、男女七十四名が参加。昨年リニューアルオープンした「札幌もいわ山」では、有名ブランドアイテムを鑑賞し、メイン会場の札幌で一番高い位置にある天空レストラン THE JEWELLSで、もいわ山の夜景を楽しみながら交流を深めた。イベントの最後にカップルを発表し、九組が成立した。



夜景を楽しみながら交流を深める参加者

3/20

付属専門学校(CA)で
「春のオープンキャンパス」を開催

札幌商工会議所付属専門学校では、来年度の進学希望者を対象にオープンキャンパスを開催した。当日は、本校の学習内容をより理解してもらうための「学科別体験学習」のほか、キーキッキング、お楽しみ抽選会などを実施。全道より参加した多くの高校生に本校を紹介する良い機会となった。



総合ビジネス学科では、商品ディスプレイについて実践的に学んだ

3/22

新エネルギーの可能性と展望
「新エネルギービジネスフォーラム」を開催

本年は、全国的に再生可能エネルギーと関連ビジネスへの注目が高まると予想されることから、新エネルギーの可能性と展望についてフォーラムを開催した。

新エネルギーを「まちづくり」に有効活用する「風の町 苫前町」の取り組みや、新エネルギー関連ビジネスによる地域貢献を目指す「トヨタ自動車株」の取り組みについてご講話いただいた後、講師と自治体ゲスト(下川町、ニセコ町)を交えたパネルディスカッションを行った。



講演する苫前町長の森利男氏

3/21

まちづくりセミナー
「札幌市総合交通計画の概要と今後十年の施策」

札幌市が本年一月に策定した「札幌市総合交通計画」の概要を解説するセミナーを開催した。将来交通計画は観光促進や低炭素社会の実現など、各種まちづくり施策と密接なつながりを持つことから、札幌市が二十年先を見据え策定した基本方針や、今後十年間の短期的・中期的な交通戦略(施策)を紹介。当日は、九十二名が参加した。



本制度について説明する札幌市担当職員

3/26

アジアビジネスサポートプログラム
海外市場リアルレポートコース第七回勉強会を開催

企業へのアジアビジネス支援を目的に、海外市場の生の情報を伝える「アジアビジネスサポートプログラム 海外市場リアルレポートコース」の勉強会を開催した。

今年度の最終回となった今回は、中国のコンサルタント会社である北京パシフィック投資諮詢中心董事長兼総経理の銭小英氏をお招きし、「寒冷地技術の中国市場調査報告」をテーマに、中国の建設業界が抱える課題や北海道企業が持つ寒冷地技術に対する潜在的なニーズなどについてご講演いただいた。

また、セミナーの後半には、中国の建設関連企業三社から中国の建設現場における生の声についてもお話をいただき、中国でのビジネス展開を考える企業にとって貴重な場となった。



当日は57名が参加した